



News Letter

No. 28

2008年5月1日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

ユニオン Yes! ~ プロジェクトとして再始動!

## DVD「ユニオンあればモノ言える」(仮)作成へ

土屋トカチ

ユニオン Yes! キャンペーンが終了してから、早4ヶ月。キャンペーンとしてのユニオン Yes! はプロジェクト単位形式へと移行しました。キャンペーン時代から引き続き、今後も重視しておきたいことは、労働運動の雰囲気やムードを盛り上げること。

しかも敷居は低い「ハナほじ中学」(中学生がハナクソほじりながらも理解し参加できるという意味)な姿勢を目指します。フザけてはいません。本気です。労働運動や労働に関する知識は、特別なものではあってはいけません。できる限り、肌着のような身近な存在にしていきたいと思っています。

具体的には、次のような企画を考えています。プロジェクト第1弾は、15分ほどのDVD映像作品「ユニオンあればモノ言える」(仮題)の制作です。テーマは「労働組合があれば会社側と対等になれる」...泣き寝入りだと1円にもならない。行政機関である労働基準監督署などへ相談すると、解雇予告手当1ヵ月くらい。組合だともっと貰える可能性があるし、仲間も出来る! そんなことを伝えることができればと思っています。

取材は、ユニオン Yes! キャンペーンで知り合ったユニオンの皆さんにご協力をお願いしたいと思っています。

その他、映像に近い内容を「ハナほじ中学」で読ませるマンガプロジェクトや、音楽やパフォーマンスによる表現の場の制作を予定しています。キャンペーンで好評だったグラフィック・デザイン・コンテスト、レイバー映画祭は昨年に引き続き今年も行います。各プロジェクトへのご参加・ご協力のほどよろしくお願い致します。

(ユニオン Yes! プロジェクト担当)



民主主義への手錠 (イラスト・吉花花)

## 現場に染みこんでいく活動を!

## レイバーネット2008総会開かれる

3月8日、レイバーネット日本2008総会が東京・飯田橋で開催され、約40名が参加した。伊藤代表は「ユニオン Yes! キャンペーンは大きな成果を上げたが、現場に染みこんでいく活動はこれから。知恵をだしあおう」と呼びかけ、活発な討論が行われた。特別講演は木下武男さんが行い、格差社会の分析を踏まえて「新しいユニオン運動の可能性」を論じた。とくに「個人加盟ユニオン」の意義を強調、「個人加盟ユニオンは、企業内だけの利害に縛られず、社会全体の正義を実現できる組織形態。定年になったら終わりという労働運動ではなく、命をかけるに値するユニオン運動でもある」と述べた。総会では、活発な意見交換が行われ、2008年度活動方針・会計・新運営委員を決めた。(詳細は2ページ)

## &lt;レイバーネット5月例会案内&gt;

## 映像の力を考える~チャップリンから3分ビデオまで

講師 = 木下昌明 (映画批評家)

映像は運動を拓げる武器になる。それは実感としてまちがいない。では、それはなぜなのか。ヒトラーだって映画をたくみに使った。では、民衆側・労働側の映像とは何なのか。「チャップリン」から「3分ビデオ」まで、時代や歴史を踏まえながら問題を捉え返してみたい。例会では、実際の作品を上映しながらレポートします。映像をもっと自分たちのものにするために、大いにディスカッションしよう。(木下昌明)

とき : 2008年5月18日(日)

14時~17時(開場13.30)

ところ : 飯田橋SKプラザ地下ホール

(JR飯田橋駅東口7分)

参加費 :  
会員無料  
(一般500円)

主催  
レイバー  
ネット日本  
TEL  
03-3530-8590



## レイバーネット日本 2008 年度活動方針

## 情報発信力を高めよう!

1. 新自由主義とたたかう労働運動の情報ネットワークとしてレイバーネット日本を発展させよう

## (1) 7月のG8サミット報道

今年7月には北海道・洞爺湖でG8サミットが開催される。国際的なオルタ・グローバリズム運動の大行動が展開される予定である。さまざまな労働組合・労働運動グループも行動を予定している。こうした国際的な行動を日本から他のオルタナティブ・メディア運動と協力しながら情報発信する。特に、動画投稿サイト「ユニオン・チューブ」を活用する。

## (2) 労働者派遣法改正の運動などの報道の強化

国政の焦点の一つとなっている労働者派遣法の改正問題に関する運動の側の情報発信を強める。

## (3) 新自由主義とたたかう労働者文化の構築

資本や国家が押し付けてくる文化に対抗しうる魅力ある労働者の文化の構築のための表現活動・批評活動を強化する。

## (4) 「ユニオン・YES!」の運動の継続

昨年のユニオンYES!キャンペーンは、ある程度の成果は収めたが、レイバーネット日本としては引き続き、未組織の労働者に対しても労働運動・労働組合を知ってもらう運動をあらゆるかたちで継続していく。

## 2. ウェブサイトの充実のために

## (1) ユニオン・チューブの充実を

ユニオン・チューブのアクセス数・投稿数を増やすことが重要である。会員への活用をよびかけながら改善へのアイデアも募集する。

## (2) 海外情報の充実

イギリス、アメリカ、フランスなど海外在住の会員からの情報提供をこれまでも得てきた。さらにこうした海外からの情報提供者を増やしていく。また、韓国

国チャムセサンからの翻訳情報の掲載は、レイバーネット日本の評価を高めているものでもあるので、今後も充実させていく。翻訳体制が課題であったが、新たに翻訳を担当できるスタッフを得たので、国内情報を英語で発信することも定期的にしていきたい。

## (3) 文化情報の充実

労働運動・社会運動に関わる映画・演劇・音楽・小説などの紹介はこれからも強める。映画については批評を連載できているが、他の分野についても連載執筆の体制をとりたいたい。

## 3. レイバーネットアジアのウェブサイトを実践させる

レイバーネットアジアは、2004年から始めているアジア地域の労働運動活動家のネットワーク（APWSL：アジア太平洋労働者連帯委員会）と日本と韓国のレイバーネットの協力で始められたサイトである。レイバーネット日本からの発信は弱かったが、英語への翻訳体制ができたので、日本語の情報を英語で掲載して発信していく。このサイトの充実をはかって、国際連帯の情報ネットワークを強化する。



レイバーネット日本2008年度総会(3月8日)

## 4. オルタナティブメディア運動のネットワークを強める

G8サミット報道などを中心として、国内外のオルタナティブメディア運動のネットワークが強められつつある。レイバーネット日本もネットワークに参加しながら、メディア運動全体を活性化させる。労働運動や社会運動を活性化させるためにオルタナティブメディアのネットワークがどのようなことができるのかの議論もすすめる。

## 5. メディア・アクティビストの育成をすすめる

運動の現場からの情報発信者をつよめることが情報の質と量を高めることになる。メディアに関する技術を使いこなせる活動家を目的意識的に育成することが不可欠である。レイバーネット日本のサイトに情報提供できる会員を増やして情報発信者を増やしていく。また、他のオルタナティブメディア運動と協力して、メディアアクティビストを育成する講座を開催することも検討する。

## 2008年度運営委員紹介(順不同)

伊藤彰信(代表・全港湾)・松原明(副代表・ビデオプレス)・安田幸弘(副代表・JCA-NET)・河添誠(事務局長・首都圏青年ユニオン)・武田敦(事務局次長/会計・首都圏青年ユニオン)・土屋トカチ(事務局次長・映像グループ「ローポジション」)・松元千枝(事務局次長・ヘラルド朝日労組)・下見徳章(会計監査・郵政労働者ユニオン)・杜海樹(ライター)・浅井真由美(労働情報)・安齋徹雄(出版ネッツ)・広浜綾子(出版ネッツ)・岩川保久(翻訳家)・佐々木有美(ビデオプレス)・高幣真公(APWSL日本委員会)・なすび(山谷労働者福祉会館)・新田進(小川町シネクラブ)・東海林智(ジャーナリスト)・尾澤邦子(ノレの会)・木下昌明(映画批評)・八幡純一(国労)・安並克磨(音楽家ユニオン)・森富泰平(日刊ベリタ)・小松玲子(出版ネッツ)・須田光照(東部労組)・横山隆英・小山帥人(大阪)・山原克二(大阪)

## 根津さんのたたかいはなぜ勝てたのか？

### 巨象を追いこんだ「一人ひとりの本気」



解雇を阻止し喜びの根津公子さん

一人の教師・根津公子さんの抵抗を、巨象の石原都教委がひねりつづそうと思えば簡単にできたはずなのに、できなかった。停職6ヶ月の処分は受けたものの、初めて累積加重処分を止め、解雇をさせなかったことは「大勝利」だった。

では、なぜ勝てたのだろうか。根津さんは「みんなの力」といった。しかし誰もが認めることは、根津さん本人の必死のたたかいだった。2月からほぼ連日、都教委に通いつめ、ノドをからしながら「私をクビにしないで」と体を張った訴えに都教委職員でさえも度肝を抜かれた。薬害肝炎の患者さんたちと同じように、当事者が頑張り、直接行動をやりぬいたのだ。それに、これも薬害肝炎と同じように「世論」(まだ小さい規模だが)を動かしたことだった。都教委のなかで「根津には世論がついているから手強い」という話が出ていたと聞く。全国11万を越える署名、アメリカ・フランス・カナダからの要請書、

松原 明

そして「東京新聞」はじめマスコミの取り上げも多かった。「当事者の頑張り」と「世論」、これが勝利の基本要因だった。

そして、その基本要因を支えたのが、一人ひとりの支援者だった。たとえばAさんという人がいる。この人は、毎朝、根津さんの南大沢養護学校前を通いつづけて、プラカードをもって校長に職務命令を出さないよう圧力をかけつづけた。Aさんの自宅から南大沢まで1時間以上かかるという。「なぜそんなに頑張るのですか?」という私の質問に「これは根津さんの問題ではなく、私の問題だからです。君が代不斉唱だけでクビになる世の中に絶対にしてはならない」とAさんは答えた。この間、手弁当で支援を続けた多くの個人はそんな思いだったのだろう。

大阪・三重・広島・大分から駆けつけた人、都教委に抗議電話をかけた人、新聞に投書を出し続けた人、議員に働きかけて国会質問を実現させた人、マンガで訴えた人、新聞意見広告に100万円を出した人、チャリティ音楽会を開いてカンパした人、マスコミのなかで精一杯記事にした人、都庁交渉を深夜まで連日やり抜いた人・・・あげればキリがない。そうした一人ひとりが本気になって、自分の得意分野で最大限の力を発揮したこと、その総合力が、巨象・都教委を追い込んだのだと思う。だから、もうひとつの勝利の方程式は「一人ひとりの本気 + 総合力」だ。

たしかに今回は「針の穴」をあけたにすぎない。しかし、「勝利の方程式」を今後の運動に生かせば、まだまだ状況を変える可能性はあると思う。

(レイバーネット副代表)

\*根津さんはレイバーネット会員。「根津勝利」を伝えたユニオンチューブの映像(撮影=湯本雅典)が大ヒット中です。

## 一緒につくろう、新しい波を!

レイバーネットは賛同・協力団体として、以下の運動の後押しをします。皆さん、参加しましょう。

若者・非正規・反貧困

「自由と生存のメーデー」が全国で開催

昨年、注目を集めた「自由と生存のメーデー」が今年は、独立系メーデーとして全国各地に広がっています。すでに名古屋・熊本・札幌・京都・福岡・広島・仙台で日程が決まり、各地で若者・非正規・反貧困に力を入れたユニークな試みが展開されます。東京では、5月3日に新宿で「宣言集会・サウンドデモ・パーティ」として行われます。今年のメーデーは連合・全労連・全労協も含め、ひと味違います。ビデオカメラを持って参加しましょう。

G8 に物申す!

~ G8メディアネットワークが世界へ発信

7月に行われる洞爺湖G8サミットに向けて「金持ちの国だけで勝手に世界のことを決めるな」と対抗運動が始まりました。その情報発信基地となるのが

「G8メディアネットワーク」です。大手メディアの「報道規制」が懸念されるなか、民衆側メディアの役割は重要です。ビデオ・ラジオ・ウェブなど駆使するメディアも多彩。レイバーネットも呼びかけ団体として、その一端を担います。また労働・貧困をテーマにしたワークショップなどにも関わる予定です。

MediR (メディアール) 講座

~ 3分ビデオ制作講座がメイン

レイバーネットはメディアアクティビストの養成に力を入れていきますが、それと「ドンピシャ」の企画が6月からMediRで始まります。この講座には、レイバーネットの安田幸弘・松原明・土屋トカチなどが講師として参加します。5つの講座の中でも「あなたも作れる短編ビデオ - 3分ビデオ入門編」がメイン。この機会にレイバーフェスタ3分ビデオの仕事をやりに外に拡げていきたいと思えます。場所は東京・高田馬場の「市民メディアセンター・MediR」の新しいスペースです。 03-6382-9646

# インフォメーション

イラク平和テレビ in Japan が「セン高校は皆のもの」を発表

イラクの民衆の動きを伝える「イラク平和テレビ in Japan」が、米国シカゴで制作された「セン高校は皆のもの」(レイバービーツ制作・28分)を発表した。この作品は、学校閉鎖に反対するセン高校を舞台に、米国内で進行する戦争・貧困・教育にかかわる問題に切り込んだもの。米国の後追いして「戦争国家化」する日本の明日の姿でもある。イラク平和テレビ in Japan では、この映像の普及に力を入れている。http://peacetv.jp/

ビデオプレス作品が海外へ「ルールが警告する」「君が代不起立」

4月27日に台北で開催される「台湾国際労働映画祭」に「ルールが警告する」(ビデオプレス制作)の招待上映が決まった。03年の「人らしく生きよう - 国労冬物語」に続いて二度目。台湾でも新幹線問題や民営化問題を抱えており、鉄道の安全問題は共通の課題になっている。またビデオプレスの近作「君が代不起立」はフランス語・韓国語・中国語版も完成し、フランスで自主上映が始まった。現在ビデオプレスは「君が代不起立・続編」にあたる「わたしをクビにしないで!」(仮)を制作中で、予約販売・制作カンパを呼びかけている。TEL03-3530-8588

中国人強制連行の記録DVD「虎口の港」完成  
第二次戦争中、中国から強制連行され新潟港で強制労働をさせられた問題がDVD「虎口の港」として、3月に完成した。制作は元NHKディレクターの皆川学さん。901人が連行され、寒さと暴力で159人が死亡したこの事件は、現在最高裁で争われている。本編

53分/続編20分・1500円。申込みは 025-290-3270 制作委員会へ。

インドネシアで「動画配信」国際会議

5月19日から25日まで、インドネシアで「Transmission Asia-Pacific」という会議が開催される。ユニオンチューブの開発元からレイバーネットに参加依頼があり、安田幸弘さんが出席することになった。会議の目的は「ビデオ制作者のアジア太平洋地域のネットワークの構築」で、とくにオンラインの共同戦略を論議する。日本のユニオンチューブの実践はアジアからも熱い視線を浴びており、今回の「招聘」となった。

壊憲・国民投票法体制を撃つ5/21集会

HOWSなどが中心になった実行委員会の主催で「壊憲・国民投票法体制を撃つ5/21集会」が開かれる。加藤晋介弁護士の講演「国鉄闘争と改憲反対闘争をつなぐもの」、神田香織の講談「ぼっばや義士伝」をメインに、改憲発議まで2年となった現状を考える。5月21日(水)18.30 文京区民センター。03-5802-3809

映画「フツの仕事がしたい」劇場公開にむけ完成試写会

レイバー映画祭、レイバーフェスタで上映され好評だった映画「フツの仕事がしたい」が劇場公開をめざしている。そのための最終再構成版の完成記念試写会が開催されることになった。6月5日(木)18時45分開場・19時30分上映開始、なかのZERO視聴覚ホール、参加費1,000円 \*監督・土屋トカチ及び関係者の挨拶アリ。公式ブログ http://nomalabor.exblog.jp/ メール tsuchiya\_to@hotmail.co.jp 電話 050-3744-9745 (映像グループ・ローポジション)

## レイバーネット日本・2007年度(2007.1.1 ~ 2007.12.31)会計報告

### 【収入内訳】

前年度繰入金	486,212
会費収入	672,000
カンパ収入	64,000
参加費収入(定例会など)	9,000
雑収入	121
総収入	1,242,443

### 【支出内訳】

交通費(会議、取材など)	84,230
ニュースレター印刷費	54,780
ニュースレター発送費	97,710
郵便・銀行手数料	17,085
通信費	60,290
文具費	1,946

会場費	78,920
事務所維持費(委託費)	60,000
JCAハウジング料	89,775
レイバーフェスタ会場費	146,725
メディアセンター賛同金	10,000
謝礼(講演、翻訳料)	23,000
雑費	9,700
次年度繰越金	497,322
総支出	1,242,443

### 【ユニオン YES キャンペーン】(別会計)

総収入	1,022,349
総支出	1,034,269
	11,920

## レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 347 名  
ウェブアクセス 1日 1500

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。  
年会費 3,000 円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本  
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403  
レイバーネット日本事務局  
入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org  
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578